

中国ビジネスニュース

編集：香川県上海ビジネスサポーター 池田 博明

今月の注目トピックス

広まるハイブリット型展示会

2020 年以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で海外渡航が制限され、活路を求めた結果、オンライン形式の展示会が急増しました。オンライン展示会のメリットとして、①運搬費や人件費、印刷費、廃棄物処理費などのコストを抑えられる点、②参加者のデータや資料の閲覧数など参加者の興味関心を数値で計ることができる点、③時間や場所、天気、疫病の影響を受けないため、世界中のどこにいても参加できる点、などあります。しかし、「参加者の本気度をさぐりにくい」、「実物に触れることができない」、「双方のコミュニケーションが取りにくい」といったマイナスの声もあり、次第にリアルとオンラインを融合したハイブリット型展示会に切り替えられるようになりました。

ハイブリット型展示会とは、リアルとオンラインで展示会を同時に開催する方法です。リアルで一定数のバイヤーを会場に招いて、商品やサービスを実際に体験してもらい、同時に会場の様子をライブ配信することでより幅広い層へのアプローチが可能になります。また、会場内にオンライン商談ブースの設置や、展示品の横に QR コードを展示し、QR コードをスキャンすることで商品購入ページの表示や、連絡先を交換できるなど工夫されています。出展者側からだけでなく、来場者側からもアプローチしやすい仕組みになっています。



↑ 展示品と QR コード表示



↑ オンライン商談ブース

共に香川県上海ビジネスサポーター撮影

中国の隔離制限も終了し、ビジネスでの往来が期待されていますが、まだビザなし渡航が解禁されていないため、今後も引き続きオンライン展示会增加すると考えられます。しかし、従来通りのリアル展示会を熱望する声も多いことから、リアル展示会とオンライン展示会のそれぞれの良さを活かしたハイブリット型展示会が主流になることが予測されます。

政策・経済トピックス

【新政策動向】

■ 海外団体ツアーを試験的に再開 タイなど 20 か国（日本は含まれず）

2月1日、文化・観光部（省）弁公庁は、「旅行会社が運営する中国国民の関係国への海外団体ツアー業務の試験的再開に関する通知」を発表した。同通知は、2023年2月6日より、全国の旅行会社及びオンライン旅行企業が運営する中国国民の関係国への海外団体ツアー業務と「航空券＋ホテル」業務を試験的に再開することを明確にした。関係国のリストは次の通り。タイ、インドネシア、カンボジア、モルディブ、スリランカ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ラオス、アラブ首長国連邦（UAE）、エジプト、ケニア、南アフリカ、ロシア、スイス、ハンガリー、ニュージーランド、フィジー、キューバ、アルゼンチン。

■ 中国人民銀行、最優遇貸出金利を据え置き

2月20日、中国人民銀行（中央銀行）は、銀行貸出金利の指標となる最優遇貸出金利（ローンプライムレート、LPR）の1年物を3.65%に据え置いた。据え置きは6か月連続となる。新型コロナウイルス感染拡大による影響から経済が持続的に回復している兆しが見られていることから追加の金融緩和は必要ないと判断したとみられる。

【経済動向】

■ 韓国が日本を抜き中国4位の貿易相手国に

中国の税関総署が発表した2022年の中国輸出入データによると、2022年通年で、中国・韓国間の貿易額は前年比0.1%増の3,622億ドル（約48.5兆円）に達した一方で、中国・日本間の貿易額は同3.7%減の3,574億ドル（約47.9兆円）となった。これにより韓国は日本を抜き、中国の5番目の貿易パートナーから1つ順位を上げて4番目のパートナーになった。日本は5番目に順位を下げた。中日貿易が韓国に追い抜かれた主な原因は、2021年の中日貿易総額は3,714億ドル（約49.7兆円）で2020年に比べて17.1%増加したのに対し、中韓貿易総額は3,624億ドル（約48.5兆円）で2020年に比べて成長率がさらに大きく26.9%に達し、昨年の中韓貿易で高い水準を維持したことがあげられる。

■ 2022 年の実行ベース外資導入額が初めて 1 兆 2,000 億元を突破

2 月 2 日、国務院新聞弁公室は記者会見を行い、2022 年の中国の商務運営状況について説明した。中国の外資導入規模は 2022 年に再び過去最高を更新し、2021 年の 2 桁増加を基礎とした上で安定した増加傾向を保ち、実行ベース外資導入額が初めて 1 兆 2,000 億元（約 23.4 兆円）を突破した。また 2022 年の中国の社会消費財小売総額は 44 兆元（約 859.3 兆円）に達して、2021 年の水準を維持した。外資導入の面では、製造業の外資導入額が大幅に増加して、実行ベースでは前年同期比 46.1%増の 3,237 億元（約 6.3 兆円）だった。特に外資参入制限の全面的撤廃の恩恵を受けた自動車製造業が、同 263.8%増と大幅な伸びを示した。商務省の統計データ分析によれば、在中国外資系企業の 90%以上が主に中国市場向けに業務を展開している。中国は 14 億人を超える人口を擁し、世界 2 位の消費市場であり、消費の新業態と新モデルが次々に登場し、市場のポテンシャルが持続的に発揮されている。今年は消費の回復・拡大を優先的な位置に置く予定であり、市場規模が一層拡大し、外資系企業の対中投資の原動力もさらに大きくなることが予想される。

【日系・外資企業動向】

■ ソディック、廈門工場の新工場稼働

1 月 30 日、ソディックは、連結子会社の沙迪克（廈門）有限公司隣接地に、産業機械事業と食品機械事業の強化に向け新工場を建設し、同月から稼働を開始すると発表した。産業機械事業では、中華圏での 5G・EV 等をはじめとするものづくりの高精度化・高精密化の進展により同社の射出成形機の需要が高まりつつあるほか、食品機械事業でも、海外向けの製麺機や米飯製造装置など食品機械の需要が拡大しており、生産能力の増強が必要となっていた。新工場の生産品目は、産業機械事業の射出成形機と食品機械で、射出成形機の実産能力は月 100 台を持ち、食品機械事業はすでに生産している製麺機に加えて米飯装置等の生産品目を追加する。食品機械は中国の需要が大きく伸びており地産地消に対応する。

■ J-MAX、広州工場に新プレスライン

自動車用プレス部品などを製造する J-MAX は、広東省広州市の連結子会社、広州丸順汽车配件の既存工場に新しいプレスラインを導入する。「新エネルギー車（NEV）」向け部品の受注拡大を目指し、特殊鋼材や大型部品に対応できるラインを設ける。投資額は約 1 億元（約 19 億円）。新ラインはプレス機 5 台を設置したオートタンデムプレスラインで、通常の鉄より強く軽い特殊鋼材「超ハイテン」を使用した部品や、既存ラインではできない大型部品にも対応できる。2024 年 3 月に稼働する予定。

【人民元情報】

人民元市場レート（2023 年 2 月 20 日時点）

外貨名 100 日本円

中間値 5.1166 人民元

【中国ビジネスワンポイントアドバイス】

中国税務当局による税務調査強化の動向

コロナによるロックダウン、経済活動に対する厳しい制限が長期化していることを背景に、中国政府は失業者、中小企業、特定業種の企業（甚大な影響を受けた）を対象に大規模な減税を行った結果、深刻な税収減の状況に陥りました。中国財政部の発表によると、2022 年 1 月～9 月の財政収入は 15 兆元、財政支出は 19 兆元、財政赤字は 4 兆元（80 兆円相当）に上ったことが分かりました。財政赤字を補填するために、2020 年に 1 兆元の特別国債を発行したのに続いて、中国財政部は 2022 年 12 月に 7,500 億元の特別国債を発行すると発表しました。このような厳しい財政状況を背景に、上海だけではなく、中国税務当局は税務調査を強化している動きを見せています。

1. 移転価格に関するモニタリング能力の向上

国家税務総局の指示の下で、上海市、広東省、浙江省、江蘇省等の国税局は 2022 年 7 月から、ローカルファイルを提出した企業を対象に、従来、求めていなかったデータの提出を要請していました。通常のローカルファイル内容より、一歩踏み込んで、バリューチェーンにおける上流企業（仕入先）及び下流企業（顧客）の利益金額、利益率が求められているのが注目点です。移転価格調査リスクに繋がるこれらのデータについては、これまで、アクセス権限がないとして、提出を控えて対応することが一般的ですが、「税務調査通知書」や「税務事項通知書」が交付されていないにも関わらず、強引にデータを求めている現状は移転価格に対するモニタリング能力を更に高めようとする中国税務当局の努力が反映されています。

2. 一般税務調査の活発化

コロナの関係で人員移動が大きく制限されている中、中国税務当局が力を入れているのは「税務事項通知書」の交付による自己調査です。対象企業に「税務事項通知書」が交付され、15 日以内に自己調査報告書の提出を求められています。

	特定指摘事項の記載のある場合	特定指摘事項の記載のない場合
調査項目、対象年度	例：2019 年～2021 年の交通手当に係る個人所得税の申告漏れ	2019 年～2021 年の納税状況
自己調査報告書の内容	1. 指摘事項に対する調査結果 2. エビデンス資料 3. 修正申告表及び追加納付税額	1. 自己調査の結果 2. エビデンス資料 3. 修正申告表及び追加納付税額
自己調査報告書の提出	現場提出、メール提出、e-tax 提出	現場提出のみ

必ずしも、すべて税金を追加納付しなければならないわけではありませんが、税務当局に税金ノルマがない場合、当局の指摘事項にデータを持って、的確に説明できる自己調査報告書の説明力がポイント

となります。税務当局に税金ノルマがある場合、いくら説明しても、認められる可能性が低いので、当局が合意できる少額を支払って、妥協するのが現実的な対応と言えるでしょう。

ビジネス相談

香川県上海ビジネスサポーターでは、会計・税務、人事労務、経営、法律などのご相談に無料でお答えしています。お困りの際は、香川県上海ビジネスサポーターまでお気軽にご相談ください。

【相談事例のご紹介】

➤ 質問

【CCC・CQC 認証に関するご相談】

自社製品（特殊ライト）を中国で販売したいと考えており、認証取得について検討しております。CCC・CQC 認証にとって代わる現地規制・規格の有無についてお教えいただきたいです。

➤ 回答

「強制性製品認証管理規定（強制性産品認証管理規定）」によると、国が指定する製品に該当する場合、強制性製品認証の取得が必要となります。強制性製品認証は CCC 認証または 3 C 認証と略称されています。

CCC 認証に該当する製品について「強制性製品認証カタログ（実施強制性産品認証的産品目録）」に登録されている製品は、国家認証認可監督管理委員会が指定した認証機関の認証証明書の取得が必要となり、を CCC 認証のマークが付いていない製品は出荷、販売、輸入、その他経営活動で使用することはできません。CCC 認証に代わる他の認証及び規格、規制はありません。当該製品が CCC 認証の取得に該当するかは以下の強制性製品認証カタログ一覧 URL をご参照ください。

※強制性製品認証管理規定（強制性産品認証管理規定）：

http://www.cnca.gov.cn/zw/bmgz/202006/t20200618_58608.shtml

※CCC 製品認証範囲及び規制・規格（強制性製品認証カタログ一覧）：

<https://www.cqc.com.cn/www/chinese/cprz/CCCcprz/rzfw/>

CQC 認証は、CCC 認証の取得対象外の製品に対して、販売業者が自発的に取得する認証システムであり、法的義務はありませんが、CQC マークを付けることで、商品の品質、安全、環境保護、性能などの基準要求に適合していることを証明できます。CQC 認証を申請するメーカーは一般的に、安全性及び品質のアピールや、マーケティングを有利にする目的で取得している傾向が高いです。CQC 認証に替わる他の認証及び規格、規制はありません。

※製品認証範囲及び規制・規格：

<https://www.cqc.com.cn/www/chinese/cprz/zyxcprz/rzfw/cqcbzrzfw/>

香川県上海ビジネスサポーターの利用できるサポート内容ご案内

＜現地視察の支援＞

① 現地視察に対する企画提案・アポイント手配 ②現地視察に対するアテンド・通訳

＜ビジネス展開の支援＞

③県内企業及びその現地法人等からの依頼によるビジネス相談 ④マッチング候補企業情報の提供等（基礎調査） ⑤中国企業とのビジネスマッチング・商談機会の創出 ⑥他県共同中国セミナー開催 ⑦マッチング候補企業情報の提供等（商談に係るアポイント手配）（有料） ⑧マッチング候補企業情報の提供等（商談に係るアテンド）（有料）

＜対象外の業務＞ ビジネスを伴わない観光目的での視察、適法性が疑われるもの。公序良俗に反すると思われるような業務等。

＜利用対象地域＞上海市、江蘇省、安徽省、浙江省

＜利用申込資格＞ 香川県内に本社又は事業所を有する企業及び商工関係団体等。香川県内に本社又は事業所を有する企業で、中国に進出している現地法人、支店、駐在員事務所

＜利用者が負担する費用＞ ①②③④⑤⑥のサービスは無料です（ただし、渡航費、宿泊費等は利用者の負担）。⑦⑧のサービスは有料です。利用申込書提出後に利用者が負担する費用を事前にお支払いいただきます。

香川県上海ビジネスサポーターの支援をご希望の場合は、以下 URL からお申込みください！

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sangyo/kaigai/03.html>

~~~~~  
香川県上海ビジネスサポーター 池田 博明

〒200030 上海市徐匯区虹橋路 1 号 港匯中心 1 座 25 楼  
（上海邁伊茲（マイツ）諮詢有限公司 浦西事務所内）

E-mail: kagawa@myts-cn.com

上海ビジネスサポーターの支援をご希望の場合は、こちらを検索！！

香川県 上海ビジネスサポーター

検索